

# L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝説)】

2008年6月号



今月は青春真っ只中の中学生、  
高校生が主役だよ！熱戦の後の笑顔、  
涙…全てが感動的です！！



1

## 高校生の大一番、高総体が来た！！

去る5月30日～6月1日まで、高校生にとってのメインイベントである高校総体が開催され、花巻市総合体育館を中心とした花巻市内の会場で熱戦が繰り広げられました。男子は盛岡一高、盛岡四高が不来方高の連覇を食い止めるかどうか、女子は現在実力で飛びぬけている不来方高と盛岡二高のどちらが栄冠を手にするか、注目の戦いとなりました。



もちろん、地元花巻勢としてもベスト4入りを目指したいところ。花巻北高校キャプテン瀬川くんは「今大会での大きな壁となる盛岡四高戦に、自分がこれまでやってきたこと全てをぶつける」と、大会前から強い意気込みを聞かせてくれました。

大会初日、釜石・宮古の沿岸合同チームのキャプテンを務める関 美波さんの選手宣誓とともに幕開け。各会場に分かれて3日間に渡る戦いの火蓋が切って落とされました。



編集長が観戦した花巻北高校会場では、母校の声援を受けて花巻北高校が男女とも素晴らしいスタートを切りました。男子はポスト神山の高さを活かした攻撃、女子はディフェンス、クロスアタックからのパスカット速攻が冴え、得点のたびに会場の応援もヒートアップしました。また、花巻市出身、斎藤崇監督が率いる女子・一戸高校も、実力差がある試合ながらも最後まであきらめず、自分たちの目標としていた得点数を見事に上回ったようです。これはハンドボールに限ったことではありませんが、高校生たちの最後まであきらめないで戦い続ける姿はとても感動的です！

初日に花北会場を見て「おっ」と思ったチームは盛岡中央高校。非常に安定した攻撃を見せていたのでこれは、と思っていたら私立高校では最近珍しいベスト4入りを果たしました。杉田監督のもとで徐々に力を伸ばしてきたようです。盛岡中央高校からは、花巻北中からハンドボールを始めた斎藤祐貴くんが優秀選手に選出されています。花巻勢は花巻北高校女子がベスト4入り(キャプテン寺沢麻子さんが優秀選手に選出)したのが最高でした。





決勝は大方の予想通り、決勝の組み合わせは昨年同様、男子・不来方高 VS 盛岡一高、女子・不来方高 VS 盛岡二高の一騎打ちとなりました。結果的には男女とも不来方の優勝で幕を閉じました！会場となった花巻総合体育館は準決勝、決勝ともに全校応援があり、加えて父母会や卒業生の応援で大変盛り上がりました！男女アベック優勝した不来方高校の勝因はやはり試合全体60分間走り切れるスタミナだったとのこと。普段からの練習量が差をつけたのでしょうか。しかし、準優勝の盛岡一、ベスト4入りした盛岡四高、盛岡中央とも非常に高校生らしいはつらつとしたプレーを見せてくれたようです！



女子は、決勝で戦った両チームともに怪我人が多く、さらに決勝戦では試合中に負傷というアクシデントもあり、100%のコンディションではなかったようですが、やはりこ一番で全力で戦う姿勢は非常に素晴らしかったと思います。6月末の東北高校選手権に望むチームは東北でも上位に入ることを期待しています！これまで「部活」に全てを注ぎ、チームを引っ張ってきてくれた3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした！

2 **中学生も負けていないぞ！中総体が来た！**



日に日に夏の雰囲気が強くなる6月中旬、15日には今度は中学生の番、中総体地区予選が始まりました。ご存知のとおり、花巻地区予選は恒例、伝統ともいべき花巻中 VS 花巻北中の一戦。年々レベルアップしていくこの試合に加え、Bチームの試合、女子・花巻中 VS 花巻南高の交流試合も同時開催されました。

昨年は僅差で花巻中が勝利しましたが、今年はどうなるか？序盤は北中のエース米田くん、サウスポー三木くんのサイドシュートなどで北中がリードするかと思いきや、花巻中もエース浅野くん、関くんの速攻などですぐに追いつきます。どちらかが大きく点差を離すことなく、試合は完全に互角のペースのまま前半を折り返します。後半に入ってもそのペースは変わらず、どちらが勝ってもおかしくない展開が続きますが、後半残り10分を切ったところで花巻中に徐々に疲れが見え始めます。速攻のワンパスが通らなくなり、北中が点差を4点まで広げたところでゲームセット。ジュニアからの経験者数が多く、1、2年生時は同学年同士では少々差がついていたものの、北中キャプテン米田くんも「やばいと思った」ほど両者の実力は切迫したものになっています。県大会での活躍を是非期待したいものです。夢の決勝花巻対決なるか？



女子の交流戦では、ハンドボール経験年数はほぼ互角の中学生 VS 高校生の戦いとなり、花巻中女子は高校生に負けないプレーを随所に披露。中でもエース佐々木さんのアウトフェイントが冴え、試合終了時点では同点となりました。本来はここで試合終了の予定だったのですが、先生同士の合意により延長戦が実現。「勝ちにこだわった」花巻中が花巻南高を下す結果となりました。高総体が終了したばかりで、花巻南高もこれからチームを作っていく段階だと思いますが、花巻中が頑張った勝利したこの勢いを、是非県大会でも見せてほしいものです。

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)  
2008年6月号  
2007年6月20日 発行  
発行：花巻市ハンドボール協会